

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【公開番号】特開2001-299717(P2001-299717A)

【公開日】平成13年10月30日(2001.10.30)

【出願番号】特願2000-128049(P2000-128049)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 5/05

A 6 1 B 5/0408

G 0 1 R 27/02

【F I】

A 6 1 B 5/05 B

G 0 1 R 27/02 A

A 6 1 B 5/04 3 0 0 N

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月4日(2004.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、生体電気インピーダンス測定装置としては、図1に示すように、ケーブル11に接続された1対の測定電流印加電極12a、12bおよび1対の電圧測定電極13a、13bを両手、両足、または、手足等に貼り付けて測定するケーブル接続電極型のもの10や、図2に示すように、1対のグリップ21a、21bに配置された1対の測定電流印加電極22a、22bおよび1対の電圧測定電極23a、23bを両手で握って測定する手専用電極型のもの20や、または、図3に示すように台31上に配置された1対の測定電流印加電極32a、32bおよび1対の電圧測定電極33a、33b上に両足で乗って測定する足専用電極型のもの30が知られており、いずれも両手、両足、または、手足間といった身体の2つの部位に2対の電極を配置して生体電気インピーダンスを測定するものである。尚、本願明細書において、身体の1つの部位とは、関節間に挟まれた、関節が介在しない身体の連続する部分をいう。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

$$(X - a)^2 + (Y - b)^2 = r^2 \quad (\text{式1})$$

a、b、rは、式1に、周波数F1、F2、…、FNにおける生体電気インピーダンス測定値Z1、Z2、…、ZNを代入することにより求められる。